

今月の寄贈品コーナー

夏期特別展関連行事

『発掘調査速報展』

8月2日～9月20日

■考古学の調査といえば、ほとんどの人が野外で行う発掘調査を思い浮かべるでしょう。しかし、調査は発掘するだけで終わるわけではありません。出土した資料や検出された遺構の状況について詳細に検討したうえで、「発掘調査報告書」を刊行しなければならないのです。発掘調査よりもむしろこちらの方が時間のかかる作業となるのです。

■発掘調査速報展では、平成4年度・5年度に行われた発掘調査で出土した資料で、現在

調査報告書を作成中の資料を中心に展示しています。

■展示資料には、岡崎の城山横穴群から出土した馬具、稲荷前A遺跡から出土した「国厨」の墨書のある土師器、山王A遺跡から出土した正倉院宝物と類似する「佐波理の匙」等、新聞その他で大きく報道された話題の資料のほか、長い保存処理作業を終えた鉄製品の数々も顔をそろえます。

体験学習 「勾玉を作ろう」

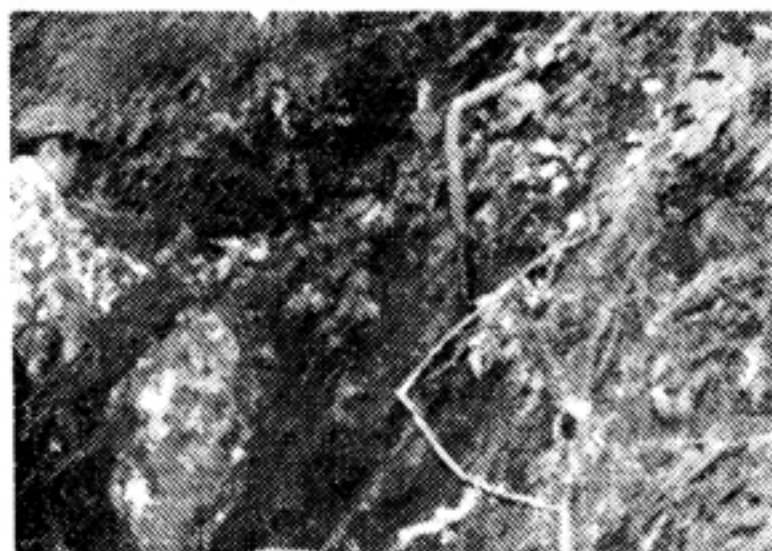
緑色凝灰岩の採集

■夏休みの体験学習「勾玉を作ろう」では去る7月28日、勾玉の材料となる緑色凝灰岩（グリーントフ）の採集に出かけました。

■少しでも古代人に近い体験をする事が目的のこの体験学習では、材料も自分で調達するのが基本。夏の暑さにもめげず、時おりまとわりつく蜂におびえながら丹沢の山道を歩くこと約1時間半。目的地周辺は青緑色の緑色凝灰岩が道や川にきらめいています。

■しかし、せっかく見つけた材料も中に亀裂が入っていると製作中に割れてしまったり台無しになってしまいます。材料選びは慎重に行わなくてはなりません。

■無事材料を手に入れた一行は8月3日に砥石として使用する角閃石安山岩の採集に出かけます。より一層困難な道のりを克服して、今年はどんな勾玉ができあがるのでしょうか。



緑色凝灰岩の露頭

露頭地での緑色凝灰岩採集